TAC 電験三種講座

入江先生からのメッセージ

23.05.25

隙間時間の過ごし方

まず、私の現役時代について簡単にお話しすると、私は大学生の頃に電験三種の受験勉強をしました。
学習方法としては、単元ごとにまとまった過去問題集を解くという形で、
正直あまり内容をしっかり理解せず、ただ過去問題の解き方を学ぶという学習方法でした。
当然、関連問題は何となくしかわからず、学生時代だったので、時間だけは確保しやすかったので、
大量の時間をかけて、無理やり覚えて試験に臨みました。
結果としてはなんとか合格はできたものの、得点も時間をかけた割にはぎりぎりの点で、
試験後には内容をほとんど忘れているといった、今から思えば非常に効率の悪い学習をしていました。
こういった学習はつらいわりに成果が出ないので、普段の授業等では効率の良い学習をするため、
内容の理解によるインプット＋問題を解くことによるアウトプットを両方しっかりすることをお伝えしているかと思います。

特に、インプットをしっかりしましょうという理由として、
人間は忘れる生き物なので、一度学習したことはどうしても忘れてしまいます。
ですが、内容をしっかり理解していると、忘れてもその後すぐに思い出すことが出来ます。
また、何度も忘れる → 思い出すを繰り返すことで、頭に定着し、簡単には忘れない状態となります。
問題を解く際は、授業で扱った内容を元に問題を解くことになるので、
内容があやふやになると、問題が解けない＋解答解説を見ても理解するのに時間がかかると、
結果、トータルでかかる時間が増大してしまいます。

つまり、インプットはしっかりとしているほどトータルの学習時間を短縮でき、
本試験問題への対応力を向上できると、良いことづくめとなります。
なので、TACでの学習は、比較的インプットの時間に重点を置いています。
また、インプットは上記の通り忘れやすいものなので、
一度学習した後は、すき間時間にテキストの読み返しや授業動画の見直しなどにより、定期的に見直すのがおススメです。

なお、すき間時間に問題を解くことは悪いことでは無いのですが、知識問題はともかく、
計算問題は実際に手を動かさないと実際の問題を解く実力はなかなか身につきませんので、オススメしません。
また、試験問題では、公式の成り立ちが聞かれる場合もありますので、
こういった問題の対策と思って、すき間時間を有意義に活用いただければと思います。

レベルチェック模試開始 ！

youtubeにて電験に関する情報を発信中！